



KIN-BALL[®] sport NEWSLETTER

新たなステージへ 一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟 理事長 今泉 良正



日本キンボールスポーツ連盟は2018年度を「設立20周年記念年間」と位置づけ、記念誌の制作や記念式典の開催等を行いました。記念事業の実行委員長として関わらせていただきましたが、20年の歴史を振り返ってみると、あらためてキンボールスポーツの導入並びに普及に関

わってきた先輩方の熱い思いと努力に敬意を払わずにはいられません。先輩方の思いを引き継ぎ、さらに30周年、50周年に向けて、今、取り組まなければならないことは何なのかを見定めていかなければなりません。理事長としてのその職責の重さを感じ、身の引き締まる思いです。

私とキンボールスポーツとの出会いは2000年宮城で開催された講習会でした。とても面白いスポーツだと熱く語る友人とともに参加しましたが、御多分に洩れずあの巨大なピンクのボールに度肝を抜かれました。また、今までにはない新しいコンセプトのスポーツに魅了されました。その後、仲間を募り、滋賀県で行われた第2回ジャパンオープンに参加し、その当時の日本のトップの学生チームと戦いました。敵わないまでも、わくわくしながら試合に臨んでいたことが思い出されます。予選を突破することはできませんでしたが、とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。

昨年、スポーツ団体はいろいろなところで問題になりました。スポーツ組織のガバナンスやコンプライアンスが強く叫ばれました。「同じ目的を持った仲間だから許される」「細かい約束を決めなくても分かってくれる」「アマチュアスポーツの世界では、個人的にいろいろなものを犠牲にして取り組んでいる人が多く、ボランティア的な要素も強いので、多少のことは大目に見てもらえる」といったことはもう通用なくなっています。また、今の時代は何か問題があると、すぐにSNS等で拡散され、世間の知るところとなります。商標登録、著作権、危機管理、各種ハラスメント、差別…。いろいろなことに気を使っていかなければなりません。日本連盟も昨年外部有識者を加え、経営戦略会議を行っています。自立したより確かで健全な組織とするため、よりメジャーなスポーツとするため、新たな取組を行おうとしています。

これからはスポーツにおける社会的使命を明らかにするとともに「志」を持ち、「する」「観る」「支える」スポーツの多様な関わり方を提供し、持続可能なスポーツ環境を確保していかなければなりません。しかし、あらためて忘れてはいけなことがあります。キンボールスポーツを純粋に楽しもうとする気持ち、相手を尊重し一緒に楽しもうとする気持ち、これらの気持ちを大切に、みなさんと一緒に日本キンボールスポーツ連盟は新たなステージに向かって歩みを進めて行きたいと考えています。

平成から新たな元号となる2019年、よろしくお祈りします。

第10回キンボールスポーツワールドカップ2019&インターナショナルオープン



第10回キンボールスポーツワールドカップ2019は下記の日程で開催されます。

開催地：フランス・Les Ponts-de-Ce (レ・ポン＝ド＝セ)

開催期間：2019年10月27日(日)から11月2日(土)

部門：男子、女子

2年毎に開催されるワールドカップ。今年はフランスで開催されます。2017年秋に東京で開催されたワールドカップでは男女ともに惜しくも銀メダルに終わりました。今年こそ男女揃って金メダルを獲得するべく日本代表候補選手たちは、日々自己研磨を重ね、合宿時には戦略や互いの技術を確認し合っています。一人ひとりの努力がチームの力となり、みなさんのエールや支援が選手団全体のエネルギーとなって今回も素晴らしい結果を出してくれると思います。

この大会には選手のサポートをしていただく方も選手団の一員として参加できますし、同時に開催されるインターナショナルオープンにチームとして参加することもできます。この大



〈みんなに祝福された初優勝の2015年大会〉

会は今までワールドクラブチャンピオンシップと呼ばれていたもので、ミックスチームの対戦となります。同じ会場で午前中はインターナショナルオープン、午後はワールドカップが開催されます。

ワールドカップは今大会よりチーム対戦方式が変わります。前ワールドカップのランキングの上位と下位にグループ分けされ、上位同士、下位同士が予選3試合行います。同等の力量のチームの予選のためここで上位に入るのがこれまでより難しくなります。決勝ラウンドでは敗者復活戦のようなシステムがあり、本当に強いチーム同士の決勝戦になります。詳細は決まり次第ホームページやFacebookでご案内いたします。